

2012年4月24日

各位

会社名 株式会社イチネンホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 黒田 雅史
 (コード番号 9619 東証・大証1部)
 問合せ先 社長室長 井本 久子
 (TEL. 06-6309-7890)

2012年3月期 業績予想の修正、並びに2013年3月期 業績予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2012年2月2日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

また、2013年3月期の業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2012年3月期連結業績予想の修正

通期(2011年4月1日~2012年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	49,000	3,200	2,830	1,310	52.08
今回発表予想(B)	47,774	3,893	3,558	△855	△34.02
増減額(B-A)	△1,226	693	728	△2,165	—
増減率(%)	△2.5	21.7	25.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (2011年3月期)	47,258	3,148	2,768	1,484	59.03

2. 修正の理由

売上高につきましては、主力の自動車リース事業において、従来からの車両の小型化に加えて、東日本大震災の影響による新車の納期遅延は正常化しつつあるものの、依然として再リース率が高い水準であること、並びにケミカル事業において、主力製品の燃料添加剤及び船舶用燃料添加剤の売上数量が減少したことにより、前回発表予想を下回ります。

営業利益・経常利益につきましては、自動車リース事業において、リース契約終了後の車両売却益が堅調に推移したこと、自動車メンテナンス受託事業において、契約台数、契約残高が順調に伸びたこと、燃料販売事業において、主力の自動車用燃料給油カードの販売価格の調整が適切に実施できたこと、ケミカル事業において、防水型携帯電話部品関連でスマートフォン向けの受注台数が着実な伸びを示したこと、並びにパーキング事業において、病院附帯の駐車場の新規管理受託成約を含めた新規駐車場が堅調に増加したことにより、前回発表予想を上回り過去最高益を更新する見込みとなりました。

また、2012年3月21日「特別損失の計上に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、財務健全性の観点から資産評価を実施したことにより、当社が大阪市中央区に保有する、パーキング用地・建物について、減損損失3,335百万円を特別損失に計上することにより、当期純損失につきましては、855百万円となる見込みです。

(ご参考) 本件は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき帳簿価額の評価により発生した損失であり、キャッシュ・フローに影響はございません。

なお、当期の期末配当につきましては、当初予定どおり1株につき9円の配当を予定しております。

3. 2013年3月期の連結業績予想(2012年4月1日～2013年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
第2四半期(累計)	24,030	1,820	1,680	890	35.38
通期	49,000	4,000	3,700	2,000	79.51

(注)本資料における業績予想につきましては、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上